



令和6年度第2号

八代市
家庭教育学級

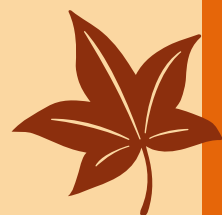
かてきょー通信

くまもと「親の学び」プログラムについて

みなさん、くまもと「親の学び」プログラムってご存じですか？くまもと「親の学び」プログラムとは、家庭教育や子育てについて学び、保護者同士のつながりをつくる参加体験型の学習プログラムです。子育てのポイントを身近な話題から楽しく学んでもらうことを目的としており、参加者同士の話し合いや振り返りなどを通じて学びます。トレーナーが出向いて、各学校、PTA、幼稚園や保育園、子育てサークルなど、保護者が集まるさまざまな機会に講座を開催しています。八代市生涯学習課には、元教師である2名のトレーナーが在籍しており、参加者が楽しんで学んでいただけるプログラムを行います。ぜひ、ご活用ください！詳しくは八代市生涯学習課（0965-30-1115）までお問い合わせください。

7男3女のお母さん 岸信子さんの講演会を開催しました！

11月8日（金）に岸信子さんをお招きして、講演会を行いました。岸さんは7男3女10人のお母さんで、20年以上前からテレビに出ていらっしゃいます。テレビで見たことがある方も多くいらっしゃるかと思いますが、とっても笑顔がチャーミングでテレビで見たままの温かく素敵な方でした。今回は、「どうせやるなら」という演題でご講演いただき、笑いあり涙ありの楽しい講演会でした。講演後は、参加者から岸さんへ質問コーナーということで、2名の方に質問をいただき、岸さんは質問に真摯に答えてくださいました。岸さん、貴重なお時間をありがとうございました。そして、保護者の皆様、教職員の皆様、お忙しい中ご参加いただきありがとうございました！





「自由に生きる力」を 育てるために



子育てをしていると、「子どもにはこんな風に育ってほしい」と、想像すると思います。親が想像するのは自由ですし、理想を持つのも当たり前のことですね。ですが、親の理想が高すぎるあまりに、子どもに親の考えを押し付けてしまうのはどうでしょうか。ここで、現在97歳で現役保育士の大川繁子さんの本の一部を紹介します。

・子どもが心ゆくまで、満足するまで打ち込ませましょう

子どもたちは、一人ひとり違う敏感期を持っています。まっすぐ成長し、その分野の力をぐんと伸ばすために不可欠な段階。ですから、どうかそのこだわりをワガママだと捉えないでください。まずは子どもの欲求を気持ちよく認めてあげましょう。

・あとで伸びる子は、今を満喫している

子どもが小さいうちは、大人にとってわかりやすい「教育」を詰め込む必要はない。それより、自分が選んだことに没頭する経験を、できるだけたくさん積みませたい。この経験こそが大人になって、自分がほんとうに没頭したいものを見つけた時のエネルギーになると信じています。

・決めるのは子ども。大人は「決めるための材料」を伝えるだけ

その子に関することは、その子自身に決める権利があります。私たち大人の仕事は、「決めるための材料」を与えることだけ。そして、子どもが決めたことには口出し無用です。

・ヒントを出して、あとは「自分で考えてね」

自由に生きるためには、考える力が不可欠です。だから、自分で考えて、どうするか自分で決めてもらうのです。

・話し合いの経験が問題解決能力を伸ばす

親が決めたルールを子どもに守らせるのではなく、一緒にルールを決めてみてはいかがでしょうか。

まだまだ素敵な言葉はたくさんありますが、ここでは紹介しきれませんので、ぜひ本を読んでみてください。そして、親は子どものサポーターとして見守ってみてくださいね。

編集者後記

大家族の番組が昔から好きでよく見ていました。岸さん一家がテレビに映ると、必ずと言っていいほど見ていたので、最初にお電話で依頼をさせていただいたときには、「岸さんとお話してる！」と緊張で手が震えてしまいました。初めてお会いしたときには、温かいお人柄にますますファンになりました♪



参考文献

「92歳の現役保育士が伝えたい
親子で幸せになる子育て」
著者：大川 繁子

発行・編集

八代市教育委員会 生涯学習課
0965-30-1115
syogai@city.yatsushiro.lg.jp